

# Astrusのご紹介

## 企業・個人背景情報調査のグローバルソリューション

KPMGは長年培ったコーポレートインテリジェンスとデータ分析のノウハウを応用し、世界中の情報ソースから、任意の企業と個人に関する情報を効率的に収集、分析し、標準化されたレポートを提供するソリューション（Astrus：アストラス）を開発致しました。

Astrusは30,000を超える情報ソースから、調査対象となる企業と個人に関する情報を抽出の上、分析・編纂された、迅速なリスク把握と意思決定のための英語版レポートです。

世界各国に点在する有償データベースをグローバル契約、インターネット空間の膨大な無料データソースと統合し、データ検索作業の自動化とレポートフォーマットの標準化、分析・編集の作業とノウハウをオフショア拠点に集約することで、今までの背景調査サービスに比べ大幅な時間短縮とコスト削減に成功しました。これにより、今まで見過ごされてきた、海外サードパーティリスクを、スクリーニングにより早期発見することが可能となりました。

Astrusでは、オンライン上に存在する世界中の公表情報データベースを検索し、情報を収集する「デスクトップ調査」を行います。30,000を超える情報ソースを対象に、調査対象に関連する情報を収集します。一般的なコンテンツプロバイダーが提供するデータベース以外にも、KPMG独自で調査した情報ソース、一般的な検索エンジンでは届かない深層にあるウェブサイト等もカバーしています。

### Astrusが応えるニーズ

Astrusは企業の以下のようなニーズに対応しています：

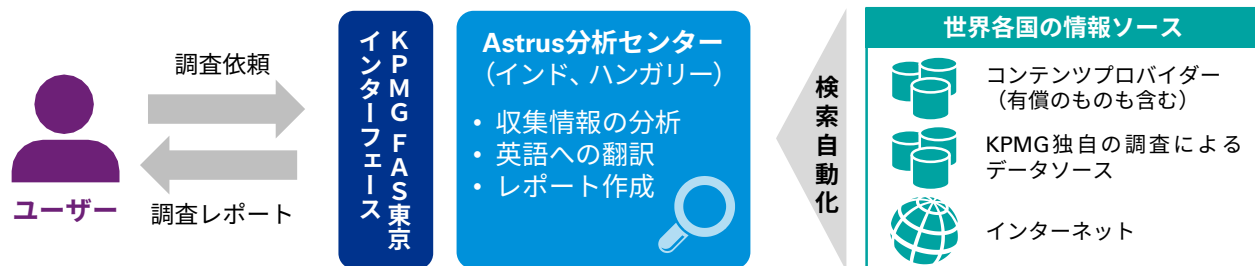
- KYC等のマネーロンダリング関連法規制対応
- FCPA等、贈賄防止関連法規制対応
- 企業幹部または従業員の採用時の身辺調査
- M&A相手先のデューデリジェンス
- 取引先のデューデリジェンス
- リスクの高い地域、顧客への対応

### Astrusにおける調査対象の例

デスクトップ調査で調査対象企業、個人の背景情報を把握します。

法人の背景情報	登記情報、企業識別情報、登録、上場等の状況、経営者や主要株主の情報
個人の背景情報	国籍、学歴、職歴、会社の保有情報
メディア情報	対象会社、個人に係る不利益なニュース記事等（過去10年分）
訴訟記録	対象会社、個人に係る過去10年間の訴訟記録（該当地域で検索可能なものに限る）
制裁記録	対象会社、個人に係る罰則や制裁、PEP（重要な公的地位を有する者）該当の有無

### Astrusの仕組み



Astrusのメリット：

- 情報ソースは各国の有償ソースをKPMGが一括して購読するので、調査の都度購読料がかからず経済的です。
- 収集の自動化と分析の集約化によって分析対象地域ごとのばらつきを抑え、標準的なレポート作成を可能にしました。

## Astrusのメリット

### 1 迅速なレポートのデリバリー

世界のどの対象地域でも、あるいは同時にまとまった数のレポートを発注頂いた場合でも、通常2週間以内にレポートをお届けします。

### 2 ニーズに応じた調査コスト対応

貴社のニーズや調査対象のリスクに応じて、3段階の調査が可能です。Astrusの標準サービスの調査範囲は、対象企業1社とその関係者個人4名までの情報収集、分析を1件としますが、企業のみ、あるいは個人だけに限定した調査、制裁対象者リストのスクリーニング結果のみのレポートなど、範囲を限定した調査を行うことで、ニーズに合ったコストコントロールが可能です。

### 3 インジケーターによる素早いリスク判断

各調査項目に対して、緑、黄、赤の3色で潜在的リスクを色分けして表示します。これによって調査結果に対してどのエリアにリスクが存在するか、一目で把握することができます（インジケーターはAstrusフルレポートのみの機能です）。

### 4 KPMG独自の情報ソース、多言語情報対応

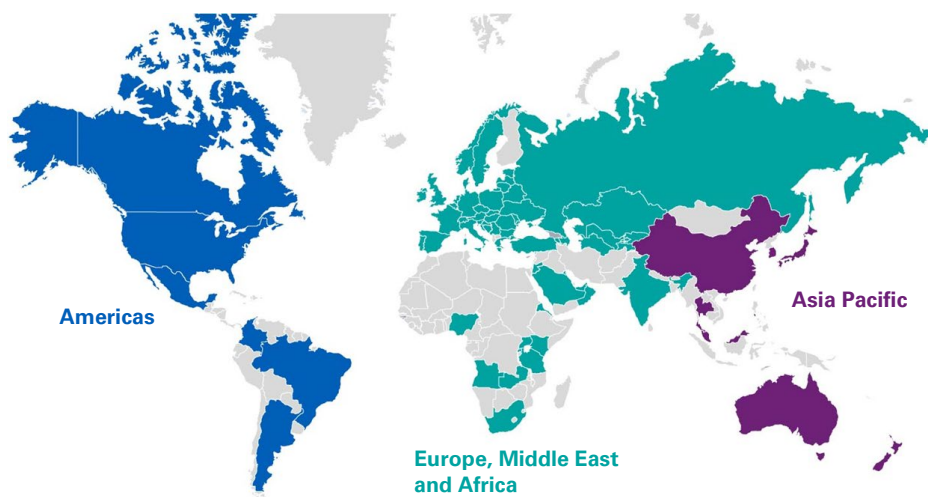
Astrusでは一般的な外部コンテンツプロバイダーからの情報以外にも、KPMG独自の調査で得た情報ソースも検索し、これら情報ソースは定期的にアップデート、追加されています。これにより他社のデスクトップ調査と比較してより多くの情報が収集できることが期待されます。また、情報ソースは英語以外にも80を超す世界各国の主要言語に対応しています。

### 5 KPMGのネットワークによる追加調査対応

Astrusの調査結果から、調査対象や個別の事象について更に詳細な調査が必要となった場合、KPMGフォレンジックのネットワークを使い、必要な情報の収集をサポートする体制が整っております。

例えばAstrusレポートで発覚したリスクの詳細を確認するために、現地フォレンジックプロフェッショナルによる実地調査等、きめ細やかな対応が可能です。

KPMGではフォレンジックサービスの認証を得たプラクティスが42カ国に展開されており、クライアントの調査ニーズに対応いたします。



## Astrusの調査レベル

Astrusを使った調査は、クライアントのニーズに合わせ、以下の3段階で調査を行います：

### Level 1-Astrusフルレポート：

対象会社と関連する個人4名について、デスクトップ調査を行います。

### Level 2 - 対象会社または個人限定：

対象会社1社もしくは個人1名に限定したデスクトップ調査を行います。

### Level 3 - 制裁対象者スクリーニングのみ：

対象会社1社もしくは個人1名の制裁対象者リストのスクリーニングに限定したプロセスです。

### インジケーターの例

- 赤** 対象会社、個人に対して過去の不正や訴訟、破産、制裁、重要な悪評等が見受けられる場合。
- 黄** 潜在的なリスクが発見されるも対象に直接結びつけられない場合や、裏付けの取れない情報が存在する場合。
- 緑** 情報に矛盾、不一致、訴訟記録、悪評、制裁、PEP等が見受けられなかった場合。

### お問合せ先

株式会社 KPMG FAS

〒100-0004

東京都千代田区大手町1丁目9番5号

大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

[home.kpmg/jp/fas](http://home.kpmg/jp/fas)

高岡 俊文

フォレンジックサービス

日本統括パートナー

T: 03-3548-5355

E: [toshifumi.takaoka@jp.kpmg.com](mailto:toshifumi.takaoka@jp.kpmg.com)

荒木 吾郎

ディレクター

T: 03-3548-5360

E: [goro.araki@jp.kpmg.com](mailto:goro.araki@jp.kpmg.com)

伊藤 俊介

ディレクター

T: 03-3548-5175

E: [shunsuke.ito@jp.kpmg.com](mailto:shunsuke.ito@jp.kpmg.com)

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2021 KPMG FAS Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.